

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	RI	学部・学 科	国際教養学部
学 年	3年	派遣国	メキシコ合衆国
派遣大 学	アメリカス・プエブラ大学		
期 間	2024 年 8 月 6 日～ 2025 年 5 月 21 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在先形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	×	冷蔵庫	◎
滞在費	約(4.5)円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(学内)で、約(0)分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	30000 円	
学用品購入費	0 円	特になし
交通費	10000 円	
交際費	10000-0 円	
その他	15000 円	買い出しなど
合計	65000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

私が留学していたメキシコのプエブラは、世界遺産にも登録されている歴史地区があり、日中は安心して散策や散歩を楽しめる場所でした。特に危険を感じるような出来事に遭遇することはありませんでした。現地の人々はフレンドリーで、私が困っていると親切に助けてくれることも多かったです。しかし、最低限の注意とほんの少しのスペイン語力は必要です。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他()		
加入期間	(11)ヶ月間	保険料	(103930)円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	()ヶ月間	保険料	()円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町(プエブラ)

私が約 10 ヶ月間滞在したプエブラは、美しい街並みが世界遺産に登録されている都市です。スペインとメキシコの文化が融合した、独特のバロック様式のカラフルな建物が立ち並び、歩いているだけでも楽しめました。留学当初は目に映るものすべてが新鮮でしたが、メキシコの文化や歴史を学ぶにつれて、以前とは異なる視点で街の魅力を再発見できたことも良い経験です。また、休日には歴史地区にあるメルカド（市場）をよく散策しました。そこには日本ではあまり見られなくなった活気のある雰囲気が溢れており、その空気感がとても好きでした。さらに首都のメキシコシティにもバスで一時間半と移動しやすく、その他オアハカなどの観光名所も比較的行きやすい場所だったのでとても便利でした。

【学業編】

1. 大学情報

大学	アメリカス・プエブラ大学	所在地	プエブラ州
最寄空港	プエブラ国際空港	空港からの距離	車で 40 分
空港⇄大学	(Uber) *移動手段		
学生数	8500 人	留学生数	150 人
学部	社会科学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	社会科学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業 (POLÍTICAS PÚBLICAS)	授業 (PSICOTHERAPIA)	授業 (POLÍTICAS PÚBLICAS)	授業 (PSICOTHERAPIA)	全休
午後	授業 (ESTADOS UNIDOS, SOCIEDAD Y ESTADO)	授業 (NEGOCIACIÓN/ COMUNICACIÓN Y GLOBALIZACIÓN)	授業 (ESTADOS UNIDOS, SOCIEDAD Y ESTADO)	授業 (NEGOCIACIÓN/ COMUNICACIÓN Y GLOBALIZACIÓN)	全休

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	空き	授業 (MERCADOTECNIA INTERNACIONAL)	空き	授業 (MERCADOTECNIA INTERNACIONAL)	空き
午後	授業 (DERECHOS HUMANOS)	授業 (MERCADOTECNIA SOCIAL/ ARTE Y ESPACIO SOCIAL)	授業 (DERECHOS HUMANOS)	授業 (MERCADOTECNIA SOCIAL/ ARTE Y ESPACIO SOCIAL)	授業 (DERECHO INTERNACIONAL PÚBLICO,

3. 履修内容

科目	PUBLIC INTERNATIONAL LAW		
履修期間	Spring-Semester 2025	単位数	6 単位
授業内容／形態	国際法の法源、主体（国家・国際組織）、国家責任、条約法、紛争の平和的解決といった国際公法の基本分野を網羅的に学びます。授業は講義、試験、および授業参加で構成されています。		
成績	10.0		
YCU 振替予定	科目	国際法	
	単位数	2 単位	
	担当教員	高橋 力也	

科目	HUMAN RIGHTS		
履修期間	Spring-Semester 2025	単位数	6 単位
授業内容／形態	人権の歴史・理論、国連を中心とする普遍的な人権保障の枠組み（世界人権宣言、国際人権規約など）、および地域的人権システムについて学びます。授業は講義、中間・期末試験、およびケースプレゼンテーションで構成されています。		
成績	9.2		
YCU 振替予定	科目	国際人権法	
	単位数	2 単位	
	担当教員	佐々木 亮	

科目	ART AND SOCIAL SPACE		
履修期間	Spring-Semester 2025	単位数	6 単位
授業内容／形態	芸術が社会空間において果たす役割や、社会とアートの関係性について学ぶ授業		
成績	10.0		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	INTERNATIONAL MARKETING		
履修期間	Spring-Semester 2025	単位数	6 単位
授業内容／形態	国際市場におけるマーケティング戦略、グローバルな製品展開、異文化マーケティングなどについて学ぶ授業		
成績	8.7		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	SOCIAL MARKETING		
履修期間	Spring-Semester 2025	単位数	6 単位
授業内容／形態	社会的課題の解決や公共の利益向上を目的としたマーケティング手法について学ぶ授業		
成績	9.4		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	PSYCHOTHERAPY		
履修期間	Fall-Semester 2024	単位数	6 単位
授業内容／形態	心理療法に関する理論や実践について学ぶ授業		
成績	8.6		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	UNITED STATES, SOCIETY AND STATE		
履修期間	Fall-Semester 2024	単位数	6 単位
授業内容／形態	アメリカ合衆国の歴史的、社会的、政治的、文化的発展について学びます。建国の理念、政治システム、移民、人種、宗教といった社会の側面を探究します。授業は講義、リーディングレポート、および試験で構成されています。		
成績	9.9		
YCU 振替予定	科目	アメリカ社会論	
	単位数	2 単位	
	担当教員	細谷典子	

科目	PUBLIC POLICY		
履修期間	Fall-Semester 2024	単位数	6 単位
授業内容／形態	政府が公共政策を通じて社会問題に介入するプロセスを学びます。課題設定、政策デザイン、実施、評価という政策形成の主要な段階を、事例研究を交えながら分析します。授業は理論的な講義とセミナーで構成されています。		
成績	8.7		
YCU 振替予定	科目	グローバル公共政策論	
	単位数	2 単位	
	担当教員	上村 雄彦	

科目	COMMUNICATION AND GLOBALIZATION		
履修期間	Fall-Semester 2024	単位数	6 単位
授業内容／形態	グローバリゼーションとコミュニケーションの関わりを、経済、政治、文化、デジタルの側面から学びます。理論的・実践的、比較的、多文化的なアプローチを取ります。授業はリーディングレポート、授業参加、宿題、および文化交流プロジェクトで構成されています。		
成績	8.9		
YCU 振替予定	科目	現代社会論	
	単位数	2 単位	
	担当教員	角田 一	

科目	INTERNATIONAL NEGOTIATION AND CONFLICT		
履修期間	Fall-Semester 2024	単位数	6 単位
授業内容／形態	国際紛争を分析するための理論的・実践的枠組みと、その解決手法としての交渉について学びます。米中貿易戦争や気候変動問題などの事例研究を通じて交渉戦略を評価します。授業は講義、試験、グループプロジェクト、およびプレゼンテーションで構成されています。		
成績	9.1		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	
	単位数	2 単位	
	担当教員	西海 洋志	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

メキシコでの約 10 ヶ月間は、当初「長い」と感じていた期間が嘘のように、あっという間に過ぎ去ってしまいました。当初は、英語があまり通じない環境で拙いスペイン語を駆使して日々を過ごし、日本とは異なる授業形式に戸惑うこともありました。しかし、そうした一つ一つの挑戦が、私を精神的に大きく成長させてくれたと確信しています。

学業面では、横浜市立大学での専門科目に通ずるような科目はもちろん、深く学んだことのないマーケティングやアート、心理療法といった多様な分野の授業も履修しました。特に、仮想市場で戦略を立案するマーケティングの授業では、クラスメイトと議論を重ねた結果、私たちのグループがクラスでトップの成績を収め表彰されるという、自信に繋がる貴重な経験を得ることができました。現地の学生と共に学ぶ環境は、語学力だけでなく、多角的な視点から物事を捉え、主体的に意見を発信する力を鍛えてくれたと感じています。

生活面では、意識的にメキシコの文化に深く触れることを心がけました。プエブラ特産のタラベラ焼きの工房に足を運んで、現地の歴史あるアートに触れたり、友人たちに日本食を振る舞ったり、大学のイベントで書道ワークショップを開催したりと、文化の相互交流を実践できたことは大きな喜びでした。留学当初に訪れた家のすぐ近くの歴史地区やピラミッドに再訪した際には、メキシコの歴史や文化への理解が深まったことで、以前とは全く違う景色が見えたことに感動したのを覚えています。ルームメイトとの交流や、時には彼らの文化との違いに戸惑いながらも「日本人らしい部分」を自覚した経験も含め、すべてが私の視野を広げ、多様性を受け入れる素地を養ってくれました。

帰国が近づくにつれ、街の空気や友人との何気ない会話、屋台のタコスの味まで、すべてが「今しかない瞬間」だと愛おしく感じられました。この留学で得た、どんな状況でも前向きに楽しむ姿勢と、日本では得られないユニークな経験や視点は、間違いなく私の人生におけるかけがえのない財産です。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

メキシコでの留学経験は、私の将来のキャリアプランと人生の目標に大きな影響を与えました。この経験を単なる思い出で終わらせるのではなく、具体的な行動に繋げていきたいと考えています。

まず、キャリア形成においては、留学中から日本の企業のオンライン説明会に参加し、自己分析を進めてきました。多様な文化背景を持つ人々と協働した経験や、未知の分野であったマーケティングの授業で成果を出した経験は、私の強みを客観的に捉え、言語化する上で大いに役立ちました。これまでは漠然と日本国内での就職を考えていましたが、この経験を通じて、自身のキャリアをよりグローバルな視野で捉えることができるようになりました。今後は、留学で培った異文化適応能力や主体性を強みとして、業界や国に捉われず、世界を舞台に挑戦できるキャリアを積極的に模索していきます。

また、大学での学業においても、この経験を最大限に活用します。国際関係や公共政策、マーケティングなど、現地で学んだ幅広い知識は、今後のゼミ活動や卒業研究のテーマ設定に深みを与えてくれるはずです。何よりも、困難な状況でも粘り強く解決策を探し、楽しむことを忘れないという姿勢は、今後の人生のあらゆる場面で私を支える力になると信じています。このかけがえのない経験を糧に、残りの大学生活も、そしてその先の人生も、より一層充実させていきたいです。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

1. 学業について 大学の授業は、同じ科目が週に2回ある形式が基本です。横市とは異なるこのスケジュールに慣れるまで少し時間がかかるかもしれません。また、課題や小テストの頻度も多いので、計画的に学習を進めることが大切です。

しかし、その分、自分の専門以外の分野、例えば私の場合マーケティングやアート、心理療法といった授業も履修でき、自分の世界を大きく広げるチャンスもありました。最初は不安でも、挑戦してみると案外ついていけるものですし、そこで得られる達成感もあります。少人数のクラスも多いので、積極的に発言すれば先生やクラスメイトから丁寧なフィードバックをもらえます。

2. 言語について メキシコでは、想像以上に英語が通じません。だからこそ、基本的なスペイン語を少しでも勉強していくことを強くお勧めします。流暢である必要はありません。挨拶や自己紹介、簡単な質問ができるだけでも、現地での生活のしやすさが格段に変わります。私の場合は秋学期にビギナー向けのスペイン語クラスが開講されなかったため、独学で頑張りましたが正直事前に知識があると便利だったと思います。

3. 生活・文化について プエブラは本当に美しい街です。ぜひ、休日は歴史地区のメルカドを散策したり、ピラミッドや遺跡に訪れたり、自分の足で街を歩き回ってみてください。日本とは違う「適当さ」や、人の温かさに触れる中で、心地よさを感じることもあれば、自分の中の「日本人らしさ」に気づかされることもあります。その文化的な衝突も含めて、すべてが貴重な経験だったと思います。

また、寮生活では、必ずしも他の留学生と一緒にいるとは限りません。私の場合はほとんどがメキシコ人の学生で、最初は少し驚きましたが、彼らとの交流はスペイン語の上達にも繋がりました。ただ、夜遅くまで賑やかなこともあるので、自分の時間やプライバシーを大切にしたい場合は、留学生専用のレジデンスを検討するのも一つの手です。

4. 留学を最大限に活かすために 留学生活はあっという間に過ぎていきます。だからこそ、日本食を振る舞って文化交流をしたり、大学のイベントに積極的に参加したり、少しでも興味があることにはどんどん挑戦してみてください。

また、留学中だからこそ、将来について考える時間を持つのも良いと思います。私はオンラインの就活イベントに参加し、アメリカでのキャリアフォーラムに参加したりしました。留学経験をどうキャリアに活かすか考えることで、自分の視野が日本国内だけでなく、世界に広がっていくのを感じました。